

水トラストニュース

2022.12 No.47



もくじ

“名古屋働く人の家”たくさんの出会いをありがとう！！	1
村越造園への道—2	3
御嵩町新庁舎ってハザードマップ地区に建てるってよ	5
2021年度 収支決算報告	6

“名古屋働く人の家”たくさんの出会いをありがとう！！

宮下 令子

先日、この“名古屋働く人の家”の代表をずっと続けてくださった、故由井神父様の追悼ミサに参加して参りました。難民申請の許可が下りない一人の外国人労働者のことを、死の間際まで訴え、声をあげ続けていた由井神父の姿を思い出しました。

自宅に戻って、長男と由井神父の話をする中で、以前、不当な労働を強いられ逃げてきたフィリピン人の方を横浜のシェルターまで息子が車で送り届けたことがありました。1997年のころに、長男にしばらく働く人の家の管理をしてもらっていた折の出来事です。雪の舞う寒い日の夜、働く人の家に「助けて！！」と凄惨な形相で飛び込んでこられ、息子が由井神父に連絡すると、「新幹線に乗せて横浜のシェルターに向かわせよう」と言われ、そう告げると「捕まるのが怖くて新幹線には乗れない！！」と。息子は覚悟を決め、自分の車で横浜の支援者のもとに走った。途中、高速が凍結していて、下の道を、片言の日本語を交わしながら長い時間をかけ、無事、目的地に着き、支援者の暖かい出迎えを受けたということでした。

“名古屋働く人の家”は1989年に現在の場所に新築されました。それまでの20年ほどは熱田教会の図書館を“働く人の家”とし、社会的に小さく弱い立場におかれている人たちや、その人たちと共に生きようとする市民・労働者が学習・交流する場として、またカトリック青年労働者の学習、交流の場として、又、平和・人権・環境問題などにかかわる市民運動・障害者運動を担う方々に活用されてきていました。その働く人の家をお世話くださった辻村神父、諸角神父の提言で、フランシスコ会の援助のもと、名古屋教区、そして、市民運動などに携わる多くの方々の浄財で、“名古屋働く人の家”は新たな船出を致しました。

その頃の利用団体は JOC、ACO、CWA などのカトリック労働者運動、難民移住委員会、東チモール支援など、A.A.やギャンブルアノニマスの会など、又、寄せ場集會・笹島診療所、定通父母の会、干潟を守る会、公害患者の会、土こやしの会、わっぱの会、車いすマラソン、ビルマ問題を考える会、などなど、数えきれない程のグループの学習・交流の場として利用されていました。



1992年ころ、日本の東南アジアに対する公害輸出の典型とされる ARE (マレーシア三菱化成) 問題に全国的な取り組みが始まり、ここ名古屋でも、“名古屋働く人の家”を拠点に活動が始まりました。1994年「ブキメラ村の子ども達を支える会」が発足し、翌年2月、有志(大人10人、子供2人)でマレーシアのブキメラ村の子ども達を訪ねました。ブキメラ村の ARE 社が排出し工場周辺に投棄した放射性廃

棄物の影響で罹患した白血病の子供たちの深刻な状況を目の当たりにした記憶が蘇ります。

日本国内においても、産廃問題は深刻な事態になっていました。1995年5月、このグループメンバーの一人、木曾川中流域、御嵩在住の小西和子さんから、御嵩町内の小和沢地区に巨大産廃処分場建設計画が持ち上がっているという話を聞き、7月に予定地を訪れ、ビックリいたしました。のどかな段々畑の小和



沢地区の山あいの谷間のすぐ向こう側には木曾川の大きな流れがあったのです。そして、このグループメンバーを中心に「巨大産廃処分場建設計画から木曾川・500万人の水を守る会」が立ち上がり(1995年)、御嵩の住民の「産廃を考える会」の皆さんと連帯し、下流域の自治体や市民グループに働きかけ、「いのちの水を守る」大きなうねりとなりました。1997年6月22日、「巨大産廃処分場建設計画」の是非を問う住民投票で木曾川の水を一滴も飲んでいない御嵩町住民は、計画にNO! 処分場計画を拒否し凍結させました。

その後、「みたけ・500万人の木曾川水トラスト」に改称し、“水源の森・みたけ”を拠点に、町有林の間伐、整備など、水源林保全のための活動が展開されています。そんな活動の事務局としても、“名古屋働く人の家”は存在し続けてきたのですが、この度、その役目を終えることとなりました。

この間、発起人のお二人も天に召され、その意思を継いでくださった由井神父も、管理を任されてきた夫の宮下もこの世を去りました。利用される諸団体のステージもそれぞれ変化し、このコロナ禍においては、利用は激減し、幕を降ろすこととなりました。

長い間、支えてくださった皆様に、厚く御礼申し上げます。

個人としましても、“名古屋働く人の家”はずっと私達家族の傍らにありました。

ここで繰り広げられた人々の営みを、連帯を、決して忘れることはないでしょう。

“名古屋働く人の家”～ たくさんの出会いをありがとう!!

2022年12月



原則毎月行ってきた水トラストの”事務局会議”

村越造園への道—2 & 一口メモ

村越 久弥

愛知県立岡崎高等専門校総合造園科に入校し樹木の剪定や庭造りなどの知識や実習を重ねています。

11月には、愛知県緑化センターのみどりフェスティバルに五つの班で、一坪庭園を展示をしました。

構想・設計・材料取・制作・設置を3週間程掛けて校内に有る材料を基本として、習った事に独創性を入れてメンバー（建築関係、瓦製造、事務屋など）の想いが集まった作品です。各々の知識に関心しながら当方は知恵だしと不具合発生時の対応役に回り楽しみました。



一坪庭園 《テーマ》風の流れを味わう庭

樹木の剪定実習は、昨年までの倍の量を行う為時間短縮を求められ、更に仕様も高度に成りました。

速さと樹木を気持ち良くさせたい気持ちと葛藤しながらの作業、でも枝や葉と話しながらなので時間を費やしてしまうので先生には『むらこし時間ですね』納得するまでやって良いよと云われます。

今の実力はこの程度と噛み締めながら、復習と改善の繰り返しをして進んでいきます。ふわいと！

樹木の移植作業で根巻きと云う行程で穴（幹の径が10cmだと直径40cmと160cmのドーナツ状で深さ70cm程度）を掘るのですが、水トラスト仲間から林道の路面改修の時にスコップ操作を教えて貰っていたので、早くキレイに疲れずに作業が出来、外部講師に褒められて凄く嬉しかった。

ここの仲間からも色んな事を教えて貰い、これからの糧に成っています。 ありがとう！

ここに来る切っ掛けとなった千葉県富津市での災害ボランティア活動の継続として、10月に鋸山復興ボランティア活動に私は倒木処理、妻は登山道整備と二人で参加してきました。

10名程での作業で4名は更に上方の倒木を処理、私は写真に有る様な1本の樹の股に数本が倒れ込んで居るのを6名で処理。メンバーが持って来ていたロープウインチを使って引きずり落して玉切りする計画として実施。チェーンソーを使わずの作業でしたが、お互いが出来る事を自発的にまかない連携を密にして、休憩なしの3時間を怪我が無き様に合言葉に終える事が出来ました。

前回一緒に参加の方々が覚えて居てくれたり妻も色々な方と話せたようで楽しく勉強になった時間を過ごせました。これからも継続です。



鋸山復興ボランティア 倒木の様子
・1本の樹の股に数本が絡んでいる

【一口メモ】

★針葉樹と広葉樹の根の張り方について。

◎針葉樹は傾斜の下向き側の土壤に太く大きく発達する。

◇広葉樹は反対の上向き側の土壤に広く長く発達する。

◎杉や檜木などの針葉樹は谷側に根が発達する。

◇広葉樹は山側に根が発達する。

◎針葉樹の幹は傾斜側から体を押し上げるように“圧縮あて材”を形成する為、年輪配列も下向き側が広がる。

◇広葉樹の幹は傾斜の上側から引っ張る様に上側に“引張りあて材”を形成する為、断面は上側が広がっていて、全体で洋ナシ型をしている。

文献などを調べた内容などを抜粋しています。

☆前回に書いた

檜木の葉茶を造ってみるのですが、500ccのペットボトル1本分を造りました。

確かに“爽やかな味”でしたが、好んで造って飲む程では無いと感じました。

2022.11.20

御嵩町新庁舎ってハザードマップ地区に建てるってよ

小西 和子

はい、御嵩町の西に位置する伏見地区に住んでいますコニシであります。

現在御嵩町町議4名が御嵩町新庁舎移転について反対を表明しています。彼らの主張は次の3つです。

その1. 御嵩町の年間予算に匹敵する約78億円の事業費に税金を費やすこと。当初耐震補強から始まった見積もりは1億8千万円、今や78億円。

その2. 新庁舎予定地は可児川のすぐ近くで、ハザードマップで浸水想定区域に入っています。町は盛土で対応するとしています。ここに災害救援活動の可能な防災広場が新設され、併設される町民ホールが避難所になるって・・・

その3. 予定地の一部が新庁舎移転に伴う用地取得を推進してきた本人(副町長)の所有地であるということです。

杉本裕明(元朝日新聞記者)著「もう白紙撤回しかない！ 御嵩新庁舎78億円の謎」*によりますと、この予定地は水田で23人の地権者がおり、この地域は県の定めた「長期にわたり総合的に農業振興を図る地域」なのだそうです。(水田をつぶすのも気になる場所)

町は2021年10月に農地転用の許可申請書を岐阜県に提出しました。ここは優良農地なので無秩序な開発には農業委員会は慎重でした。

また、役場を設置するには位置条例が必要です。この位置条例とは、公の施設を設置する時に位置を定める条例のことで、地方自治法で3分の2以上の議決で制定することの決まりがあります。現在、町議11人のうち4人が反対しているので、3分の2の要件を満たさず、県からの許可が得られていません。

ちなみに現御嵩町役場は水害の原因となる可児川とは離れているので水害の危険性はありません。亜炭鉱の空洞対策済みで耐震改修さえすればよいらしい。



チェーンソー製材機で板をひく

78億もの税金を使うな
御嵩町新庁舎建設計画に断固反対
私は白紙撤回に賛成します
伏見 営農

個人名が入っていることも。田んぼに個人宅に、伏見地区では看板増殖中。

現在2022年11月、御嵩町は新庁舎問題と、中央新幹線(リニア)の残土が上之郷美佐野地区に持ち込まれるかという問題を抱えています。それでもまっとうな感性の持ち主がいる、町の説明会でも多いような気がする(気だけ?)のが救いであるますが、さて・・・

(*発行日:2022年8月25日、発行者:杉本裕明、67ページの冊子で、一部の住民に配布もされた)

2021年度 収支決算報告

2021年4月1日から2022年3月31日まで

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
(資金収支の部)				
I 経常収入の部				
1 会費収入	100,000	86,000	14,000	
1) 正会員会費収入	40,000	40,000	0	正会員年会費 2000円×20名
2) 支持会員会費収入	60,000	46,000	14,000	支持会員年会費 2000円×23名
2 事業収入	500,000	418,410	81,590	環境大学講座参加費と助成金,木売り上げ
3 補助金等収入	0	190,000	△ 190,000	デンソーはあとふる基金
1) 民間補助金収入	0	190,000	△ 190,000	
4 寄付金収入	200,000	182,500	17,500	
1) 寄付金収入	200,000	182,500	17,500	個人有志より
5 借入金収入	0	0	0	
1) 借入金収入	0	0	0	
6 雑収入	55,010	27,308	27,702	
1) 雑収入	5,000	3,500	1,500	総会、新年会の会費残など
2) 保険料	50,000	23,800	26,200	ボランティア保険参加者負担分
3) 受け取り利息	10	8	2	預金利息
経常収入合計	855,010	904,218	△ 49,208	
II 経常支出の部				
1 事業費	450,000	433,455	16,545	
1) 水源林の保護育成事業	250,000	341,710	△ 91,710	水源の森管理,ボランティア保険,軽トラ購入,車検
2) 水源地域環境保全のた めの政策提言事業	100,000	49,421	50,579	御嵩町有林管理、のこぎり替刃他
3) 環境保全啓発事業	100,000	42,324	57,676	水トラストニュース印刷製本発送費
2 管理費	165,000	142,896	22,104	
1) 役員報酬	0	0	0	
2) 給料手当	0	0	0	
3) 臨時雇賃金	0	0	0	
4) 福利厚生費	0	0	0	
5) 会議費	12,000	12,000	0	理事会1回 総会1回 役員会12回
6) 旅費交通費	0	0	0	
7) 通信運搬費	10,000	896	9,104	切手
8) 消耗什器備品費	0	0	0	
9) 消耗品費	8,000	0	8,000	
10) 印刷製本費	10,000	10,000	0	資料代
11) 光熱水料費	0	0	0	
12) 賃借料	120,000	120,000	0	事務所賃借料
13) 諸謝金	0	0	0	
14) 租税公課	0	0	0	
15) 雑費	5,000	0	5,000	
3 予備費	15,000	0	15,000	
1) 予備費	15,000	0	15,000	
経常支出合計	630,000	576,351	53,649	
経常支出差額	225,010	327,867	△ 102,857	
III その他資金支出の部				
1 固定資産取得支出	0	0	0	
1) 水源の森土地取得費	0	0	0	
2 借入金返済支出	0	0	0	
1) 借入金返済支出	0	0	0	
その他資金支出の合計	0	0	0	
当期収支差額	225,010	327,867	△ 102,857	
前期繰越収支差額	1,117,627	1,117,627	0	
次期繰越収支差額	1,342,637	1,445,494	△ 102,857	

気軽に、楽しく 山仕事に参加しませんか

とき： 毎月第2土曜日およびそれに続く日曜日

集合場所： 御嵩町・中公民館（名鉄広見線・御嵩口下車、すぐ）

集合時間： 午前10時（日曜日に日帰りの方も同じ時間に中公民館にお越し下さい）

参加の方法：電話、ファックス、電子メールなどで申し込んで下さい。

申し込み・お問い合わせ先：TEL & FAX 052-735-5453 (市村)

e-mail: mitake500npo@yahoo.co.jp

参加者の服装・持ち物：長袖、長ズボン、作業の出来る履き物、弁当、水筒

表紙の絵は早川しょう子さん作、p.2の絵はカエルさん作



9月17日(土)「環境デーなごや」でのノコギリ体験
オンラインではなく、栄で開催されました。3年ぶりです。

発行

特定非営利活動法人 みたけ・500万人の木曾川水トラスト

〒464-0850 名古屋市千種区今池3-12-3

丸美タウンマンション今池205（←2020年11月より）

郵便振替00840-5-137369（←2018年5月より）

URL <http://mitake500npo.na.coocan.jp/>

e-mail mitake500npo@yahoo.co.jp